

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-125731

(P2002-125731A)

(43)公開日 平成14年5月8日(2002.5.8)

(5) Int.Cl.		識別記号	F I	コード (参考)
A 4 5 B	17/00		A 4 5 B 17/00	Z 2 E 1 4 1
	9/02			D 3 B 1 0 4
	25/02		25/02	A
	25/18		25/18	F
E 0 4 H	15/28		E 0 4 H 15/28	
			審査請求 未請求	請求項の数 6 書面 (全 5 頁)

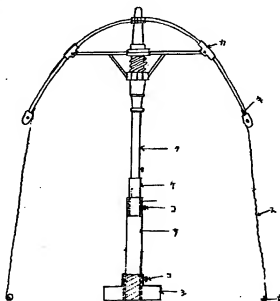
(21) 出願番号	特願2000-373535(P2000-373535)	(71) 出願人	500541081 野月 紀夫 東京都葛飾区高砂 5-22-13 ドールセオ ガール101号
(22) 出願日	平成12年10月24日(2000.10.24)	(72) 発明者	野月 紀夫 東京都葛飾区高砂 5-22-13 ドールセオガ ール101
		F ターム(参考)	2E141 A005 B805 C005 D002 E003 3B104 N004 U001

(54) 【発明の名称】 壊れにくいワンタッチ開閉傘型緊急用簡易トイレ

(57)【要約】 (修正有)

【課題】壊れにくいトイレ兼用傘を提供する。

【解決方法】従来の傘の骨の形状と材質を変えられ曲がりやすい材質のものとするときに、骨と骨と骨の穴をくりの骨をおさる糸が通る、骨、骨と骨、骨が一枚となり、風などで風がたためたとしても骨と骨と骨を結合させる接着剤がしれども、骨と骨と骨がはがれないようにしたと同時に傘の布の端のすその部分を広く折り二重に（2列）にミシンで縫い付けずると共に傘の骨に（ぎり）の底部分は山を切り切つて中間に骨を取りつけそれと中間隙の中に差し込みナジで固定したものを右左面に差し入れナジで縫つて固定させる。傘の布の二重（2列）に縫つて、ある所にファスナーを（くりの穴）に付け、軽くて、薄くて防水性があり、中が透けて見えない材質の布にくりと取り付けそのカターの底部のすその部分の溝にござりとり形を保つための特種なワイヤを通し安定具としカターの前部のファスナーを閉めて使用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】図4と図6を見てわかるように、従来の傘の骨Aの部分はU字形で、ブリキのような材質であったが、それを自転車のスポークのような、円柱状で適当な太さの丈夫で弾力性のある骨に変え曲がっても折れないようにしたもので日傘及び、パラソルも含む)

【請求項2】傘をおおう布の先端部分をおさえる糸を骨ケース11の穴と骨A'の糸通し穴イと同一の穴を通し風などで骨がたわんでも骨ケースが骨からはずれないようにしたもので日傘及びパラソルも含む

【請求項3】傘をおおう布の先端部分の折り返しとあるところ(縫い代)を広くより図8のオのように傘の内側から二重(2列)にミシンで縫い破れにくくしたもので日傘、パラソルも含む

【請求項4】図1の骨Bと骨C及び支柱の形状、機能はそのまま材質は自転車のスポークのような折れまがりにくい材質に変えたもの

【請求項5】図10を見てわかるように、傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り、にぎり部2と切り離すことができるようにし、にぎり部1の底部ににぎり部子のような色々のデザインのものを取りつけることができるようにした傘及び日傘

【請求項6】図10のように傘のにぎり部1のケの底部にねじ山を切り中間用のにぎり部子を取り付け(にぎり部1がネジを締めた時俯向きに)それを中間棒の内部に差し込み、ネジ:コで締め固定し、さらにその中間棒を台座シ:に入れ、ネジ:コで締め固定し、図8を見てわかるように傘の内側のミシンで、縫ってある、丈夫な所、キにぐるとファスナーを取り付け、軽くて、薄くて防水性があり、内部が透けて見えな材質のカーテンを取り付け、そのカーテンの底部に図11のように、安定具(特種なワイヤーのようなものを、ビニール等で被ったもので先端は、カーテン底部の安定具を通す溝を備つけないように丸めて作ってあり輪を付けてたがいひでも結ぶことができるように、した適当な重さのあるもので、丸めて簡単に収納できるもの)を傘のまわりにぐると垂れたカーテンの底部にミシンで縫って安定具を通す溝を作りそこに安定具を通し先の部分を互いにひもで結び、カーテンの前部に取り付けてあるファスナーを上げて締め使う、壊れにくいワンタッチ開閉傘型緊急用簡易トイレである

【発明の詳細な説明】

【0001】〔発明の属する技術分野〕本発明は、壊れにくい傘及びそれを利用して作った、車の停泊した時などにやむをえず使用する簡易トイレである。

【0002】〔従来の技術〕まず傘の部分においては基本時には従来の傘で良いが、ただ、風や雪等に強く強い風の日などは町中に多くさんの傘が投げ捨てられていた。それは、図1でわかるように、傘の骨Aの部分で図4を見てわかるように薄い、ブリキのような材質でU字

形をしていた為に曲げにとても弱かった。番、壊れた部分で多いのが、この部分であった。次に骨Aと骨Aを納め骨ケースがはずれやすかつたそれは、図6を見てわかるように、骨ケースにあけてある糸通し穴A'と骨Aが同じ穴を通り糸で一体となっていたため、骨ケースと骨を接着させていた接着剤がとれると、すぐにはずれやすかつた。また、カサを被っている布の先端部分の折り返し部分つまり縫い代が狭かつたそれは、外見の見た目を良くする為であったが、破れやすかつた。また、支柱の形状及び機能はそのままで良い強い風で曲がりやすかつた。また、図10を見てわかるように、傘のにぎり部1の内部にねじ山を切り色々なデザインのにぎり部2を取りつけられるタイプのものは今までなかったように思う。また、この本発明の壊れにくい傘を利用して、この傘の内側に薄くて軽くて、防水性があり、中が見えない材質のカーテンを傘に取り付け、また傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り、中間ににぎり部子を取り付け、さらにそれを中間棒の中に入れそれを台座シ:に入れて、おじで締め固定し、カーテン前部のファスナーを締めカーテンのすその底部の溝にカーテンが風で飛ばないように安定具として通してある特種なワイヤーのような物をビニール等で被ったある物の先をひもで結んで使用する傘型緊急用簡易トイレは今までなかった。

【0003】〔発明が解決しようとする課題〕まず、壊れにくい傘を作る為に、図1の骨Aを強度のあるものにしなければならなかった。また骨BとCについても同様であり支柱も強度が必要だった。また、骨ケースと骨Aがはずれないようにしなければならなかった。また、傘の布のすその部分の縫い代がせまかつた。また、にぎり部1とにぎり部2を分離させて色々なデザインのにぎり部と交換できなかった。また車の長時間の停泊などの時トイレに行きたくても道路上、特に高速道路などではできず大変であったその為傘のようにワンタッチで開いてトイレになるような簡易トイレが必要だった。

【0004】〔課題を解決するための手段〕上記の問題を解決する為に本発明は図1の骨AをU字形でブリキのような材質から自転車のスポークのような円柱状で曲がっても折れない材質に変えた。また骨Bと骨Cについても形状は従来のままで材質を折れ曲がりにくい、自転車のスポークのような材質に変えた。また支柱についても同様に強度のあるものにした。(簡易トイレ用日傘として使う場合は特に骨A、骨B、骨C、及び支柱の太さは普通の壊れにくい傘として使用する場合よりも太く丈夫に作った方がよい)また、骨A'の先端にも糸通し用の穴を図7のイのようにあけて骨ケースの穴と骨A'の糸通し穴を傘を被っている布の先端をおさえる通し糸が通り骨A'と骨ケースと傘を被う布が一体となり骨ケースの間の接着剤がとれても、骨A'が骨ケースからはずれないようにした。また、傘を被っている布の先端のすその部分の折り返しつまり縫い代を広くとりそこをミシンで

二列に縫い、破けにくくした。また、図10を見てもわかるように、傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り、にぎり部2の上部にもねじ山を切り分層できるようにした。また色々のデザインのにぎり部を取り付け楽しむことができるようにした。このにぎり部1の底部に図10を見てもわかるように中間ににぎり部2を取り付けさらにそれを中間棒サに差し入れねじで締め固定しその中間棒を台座に差し入れ、ねじで締め固定し、図8を見てもわかるように傘の内側のミシンで縫ってある、丈夫な所きにぐるりとファスナーを取り付け、軽くて薄くて、防水性があり、内部が透けて見えない素材のカーテンを取り付けそのカーテンの底部に図11のように安定具（特種なワイヤーのようなものをビニール等で被ったもので先端はカーテン底部の安定具を通す溝を傷つけないように、丸めて作ってあ輪もつけて互いに先端でひもで結ぶことができるようにした適当な重さのあるもので丸めて簡単に収納できるもの）の傘のまわりにぐるりと垂れたカーテンの底部にミシンで縫って安定具を通す溝を作りそこに安定具を通し先の部分を互いにひもかマジックテープ（登録商標）を取り付けて結合させ前部のファスナーを上げて締めて使う破れにくいワンタッチ開閉傘型のトイレにした。

【0005】〔発明実施の形態〕本発明は従来の傘に骨の材質、形状、強度、また支柱の材質等を変えて強度を強くしさらに骨ケースと骨が同一の通し穴を通して骨と骨ケース、布が一体となり骨が骨ケースよりはずれないようにした。傘の布の先端部分のすそ部分を広く折り返し、いわゆる縫い代を広く取りそこにファスナーを取り付け、適当な材質のカーテンを取り付けその底部に特種なワイヤーのようなものを通して風が吹いても飛ばないようにした。さらに支柱のにぎり部1を中間ににぎり部2とその間に中間ににぎり部を中間棒に中間棒を台座に差し入れ固定し、前部のファスナーを締めて緊急時に使用する簡易トイレにした。

【0006】本発明の傘の骨A' は円柱状であり骨A' と骨Bとの結合部D' は図3の力のような金具を使用するわけであるが骨A' が円柱状であるのにその取り付け部がすべりやすいので骨A' にゴムテープを巻きつけるが薄いゴム板を巻きつけてから金具を取り付け、その部分を骨A' にさって少しよけてから、ねじで締め

て固定する。
【0007】本発明の破れにくい傘を傘としてだけ使用する場合は、傘の内側にファスナーを取り付ける必要はない。しかしトイレとしても使用する兼用型とする場合は、ファスナーは取り付けなければならないし、骨A' 骨B、骨C、及び支柱の太さなどは、その用途に十分耐えるものにならなければならない

【0008】骨A' の上に骨Bと結合させる取付け金具があるもので多少凸凹があり布を傷つけやすいのでその上に細くて目立たない程度の布をかぶせ縫いつけた方が

良い。

【0009】カーテンの底部をカサの底部よりも図9、図11のように広く作ると、トイレとしてゆったり使用できる

【0010】〔発明の効果〕本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する

【0011】本発明破れにくい傘は図1のA' の部分が曲がっても折れにくい自転車のスポークのような材質でできておりまた骨B、骨C、そして支柱も形状や機能は同じであるが材質が折れ曲がりやすい材質で作ってあると共に金属の厚さも厚く作って、あるので風や雪で骨が折れまがることが少ない。

【0012】本発明傘は骨ケースと骨が一の穴を通し糸が通る一体となっている為に骨A' が風などでたわんでも骨ケースと骨との接合部が壊れず骨が骨ケースから抜け出すことはない。

【0013】本発明破れにくい傘は傘の布の部分のすその部分が広く折り返してある為につき、縫い代を広くとりミシンで2重に（2列に）縫ってある為に破れにくい。

【0014】本発明破れにくい傘はにぎり部を色々な形状のものに変えて使用できるとともにそのにぎり部に中間ににぎり部、中間棒、台座などを取り付け、又傘の内側にファスナーをぐるりと取り付けそれにカーテンをぐるりとしてその底部の溝に安定具を通しカーテンの前部のファスナーを開けてトイレとして使用できる

【0015】本発明の傘型トイレは持ち運びが便利で小型で軽く、しかもワンタッチで開閉できるので素早く使用が簡単である

【図面の簡単な説明】

【図1】傘の骨の略図である

【図2】傘の骨A' と骨Bとの結合部に用いる金具のそれぞれ上面図と側面図と正面図である

【図3】傘の骨A' と骨Bを結合させた場合の側面図である

【図4】従来の骨Aのそれぞれ上から上面図、側面図、底面図である

【図5】本発明の骨A' のそれぞれ上から上面図と側面図と正面図である

【図6】従来の骨Aが骨ケースに納まっている時の断面図である

【図7】本発明骨A' が骨ケースIに納まっている時の断面図である

【図8】傘の内側の先端に広くミシンで縫い代をとり2列にミシンで縫いさらに、ファスナーを取り付け場合の底面略図である

【図9】傘にカーテンを取り付けた場合の略図である
【図10】にぎり部1ににぎり部2が納まっている時の断面図とそれぞれの形のにぎり部と中間棒の正面図である

【図11】傘に取り付けたカーテンの前部のファスナーを締めトイレとして使用する時の正面図である

【図12】傘に取り付けたカーテンのすその部分（底部）の溝の部分を通して使用する安定具のそれぞれ上から側面図と上面図である

【符号の説明】

- A 従来の傘の骨
A' 本発明の骨
B 骨B
C 骨C
D 骨A'と骨Bの結合部
ア 従来の骨Aが納まる骨ケースIと布とを一体化させる為の穴
イ 本発明の骨A'と骨ケースIと布とを一体化させる為に通る糸の通し穴
ウ 通し糸
エ 本発明の骨A'と骨Bとを結合させる金具の押しつ

ぶす部分

オ ミシンの縫い目

カ 本発明骨A'と骨Bとを連絡させる為の金具

キ、ファスナー

ク 傘の支柱

ケ にぎり部1

コ、ねじ

サ、中間棒

シ、台座

10 ス、カーテン

セ、安定具

ソ ねじ山

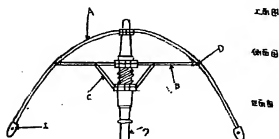
タ にぎり部2

チ 形状のちがうにぎり部2

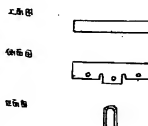
ツ 中間にぎり部

テ ボルト（ネジ）

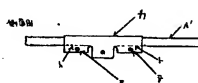
【図1】



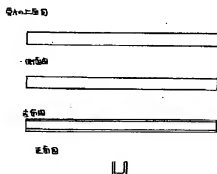
【図2】



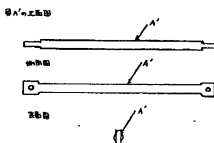
【図3】



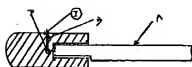
【図4】



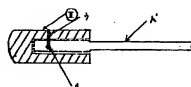
【図5】



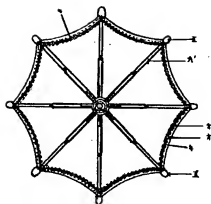
【図6】



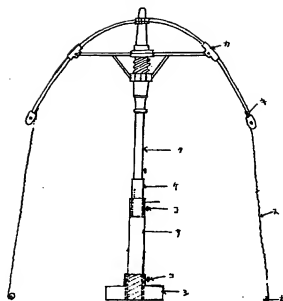
【図7】



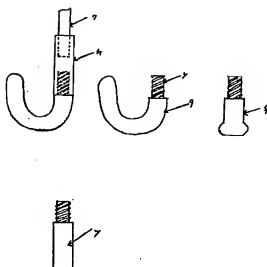
【図8】



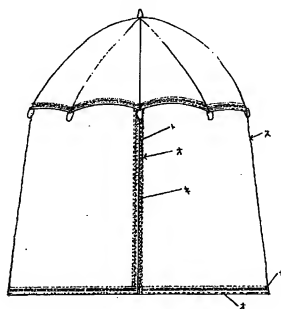
【図9】



【図10】



【図11】



【図12】

